

令和8年度 シラバス

教科	家庭	科目	生活教養 茶道	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等						
学習の到達目標	日本の伝統文化である茶道を通して、茶道の心である、相対する人への立場への思いやりや感謝の気持ちを身に付け、心豊かで潤いのある生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。					
評価の観点	a. 知識・技能		b. 思考・判断・表現		c. 主体的に取り組む態度	
	茶道の心である相対する人への立場への思いやりや感謝の気持ちの大切さを理解し、茶道に関する知識と技術を身に付けている。		茶道についての思考を深めるとともに、学習した知識と技術を活用し、創意工夫する能力を身に付け、その成果を表現することができる。		茶道に関する関心を持ち、その向上を目指して意欲的に実習等に取り組むことができる。	
評価の方法	3つの観点について、授業への出席状況、授業中の態度、課題等の提出状況、発表の仕方や内容等から総合的に評価を行う。					
	単元		主な学習内容			
前期	1 茶道の心 (1) 和敬静寂 (2) 利休七則		・お互いが仲良くし、和し合うという人間社会の基本となる心や、どんな時にも動じない心を持ち、さまざまな場で考えて行動できるようにする。			
	2 茶道の成り立ち					
	3 茶道の基礎知識 (1) 茶道具 (2) 茶席のお菓子 (3) 茶花		・茶会の目的や趣向、季節によって道具やお菓子、茶花との調和を考える。			
	4 割り稽古		・帛紗捌き等、基本となる茶道具の扱いを身に付ける。			
後期	5 茶会の心得 (1) 立ち居振る舞い (2) 客の心得		・亭主のもてなしの心、招かれた客として亭主の心をくみ取れるように心掛けることの大切さを考える。			
	6 盆略手前		・学校茶道用に創案された点前を理解し、身に付ける。			
	7 風炉薄茶点前		・点前の基本となっている風炉による点茶の形式を理解し、技術を身に付ける。			